

理財部会長報告

会議名 第3回理財部会（オープン部会）

日時 2020年11月25日（水）

場所 ホテルメトロポリタン秋田 3階

出席者 ・ 正副部会長6名、水澤専務理事
・ 理財部会員9名、他部会員14名 計30名

懇談

テーマ 人口2/3激減とウィズコロナ時代の到来

ゲスト 野村證券(株)金融公共公益法人部
主任研究員 和田 理都子

- ・ **人口と労働市場の動向** ～ 2008年の人口減少元年以降～
リーマンショックによる人員過剰から
バブル期に匹敵する人手不足へ
さらに、コロナ禍での世界的な需要減少による人員過剰へと
企業は揺さぶられ続けている
- ・ **日本の労働市場は長期的現役減少時代へ**

コロナで生まれた雇用流動性を、『戦略的な成長産業への
人員誘導による地域産業の成長促進』に繋げることが重要
- ・ **コロナによる「気付き」とは**
人口減少による近未来の変化を『先取り体験』した側面
コロナ対策で進む急ピッチな社会対応は、
慣れ親しんだ人口増加時代の常識・慣行から抜け出し
変化への勇気を得る大きな契機になり得る

・ 第4次産業革命の「分かれ目」にいる日本

変革シナリオ：産業・雇用の転換・流動化

- ・ AI等の技術革新・データを活かした新たな需要の発掘・獲得
- ・ 企業や系列の壁を越えたデータプラットフォーム形成
- ・ 柔軟な労働市場、外国人の活用
- ・ 産業の新陳代謝
- ・ データ活用を軸とした人材教育システムへの転換
- ・ 国際的なネットワークの核に（人材・技術・資金・データ）

※痛みを伴う転換をするか、安定したジリ貧を取るか
転換するならスピード勝負

・ 変わりがたい日常に起きた「小さな変化」を育てられるか

過去7年間の月次統計で2020年5月、
初めて東京都の転出数が転入数を上回る「転出超過」となった
新たな技術も追い風となり、新たな需要の時代へ

※従来の「東京」の理由がなくなる未来。一極集中是正の好機